

社会福祉の基礎

単位数	履修方法	配当学年
1単位	R or SR	1年以上



科目コード	DA2050	担当教員	三浦 剛
-------	--------	------	------

■科目の内容

- 社会福祉の概念とその理念を、史的展開に基づいて理解する。
現代社会の福祉的課題とそれに対応する制度について理解する。
社会福祉の専門性について、価値、知識、技術の枠組みに沿って理解する。

■到達目標

- 1) 広義、狭義の社会福祉の概念が説明できる。
- 2) 現代社会における社会福祉制度の役割とその概要を説明できる。
- 3) ソーシャルワーク（狭義の社会福祉の実践）の枠組みが説明できる。
- 4) ソーシャルワークの過程、技術、実践をイメージし、具体的に説明できる。

■教科書

『社会福祉基礎』実教出版、2014年

■在宅学習 8 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会福祉の歴史 (p.36～48)	社会福祉の歴史を学ぶ。 キーワード：貧困、社会病理	社会の問題であることを理解する。
2	社会福祉の理念 (p.18～29)	社会福祉の理念を理解する。 キーワード：ノーマライゼーション、自立、ソーシャル・インクルージョン	史的展開と関連づけて理解する。
3	社会福祉の概念 (p.72～77、p.146～157)	社会保障、社会福祉の概念を理解する。 キーワード：社会保険、公的扶助、公衆衛生	社会保障制度の各領域との比較で理解する。
4	生活と福祉 (p.50～65、p.8～17)	現代日本社会の福祉的課題について知る。 キーワード：少子高齢化、生活の変化、地域の変化	統計データをもとに理解する。
5	社会福祉制度 (p.78～145)	福祉的課題とそれに対応する制度を知る。 キーワード：貧困、生活困窮、虐待、障がい、要介護	社会福祉制度を必要とする実態を理解し、制度に関する基礎的な知識を得る。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
6	ソーシャルワークの枠組み (p.166～193)	ソーシャルワークの枠組みを理解する。 キーワード：生態学的視点、生活モデル	視点、モデル、アプローチを意識して整理する。
7	ソーシャルワークの実際 (p.194～215)	ソーシャルワーク実践の実際を知る。 キーワード：ソーシャルワークの専門性	どのような価値に基づいて、どのような技術がどのような過程でおこなわれるかを、現実との関連を高めながら理解する。
8	まとめ	ソーシャルワークの概念、枠組み、過程、技術について、自分のことばで説明する。	事例も学んで、実践を具体的にイメージできるようにする。

■レポート課題

1 単位め	社会保障制度の中にソーシャルワーク（狭義の社会福祉）を位置づけ、ソーシャルワークの理念、枠組み（視点、モデル、アプローチやプロセス）についてまとめなさい。
-------	---

■アドバイス

- ・「社会福祉学入門」の授業です。まず社会福祉が必要となった歴史的背景を理解し、福祉的課題を「社会の問題」としてとらえましょう。
- ・社会福祉制度の特徴を、社会保険との違い、公的扶助（生活保護制度）との違いなどを通して調べてみましょう。
- ・生態学的視点、生活モデルなどのキーワードを調べてみましょう。

■科目修了試験 評価基準

- ・社会福祉の概念、ソーシャルワーク（狭義の社会福祉）の専門性の理解がポイントです。
- ・記述の分量は1,000字以上。